



# 株主の皆様へ Top Message

お客様にとって一番身近で、世の中からもっとも愛される企業グループになりたいと考えています。

株主の皆様におかれましては、平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第150期第2四半期(2014年4月1日から2014年9月30日まで)における経営環境は、消費税増税後の反動減の影響は和らぎつつあるものの、景気回復の遅れから、特に個人消費に停滞感が見られました。また、労働需給の逼迫や燃料費の上昇などのコスト環境の悪化や、天候の不順もあり、厳しい経営環境となりました。

このような環境の中、ヤマトグループ

は長期経営計画『DAN-TOTSU経営計画2019』および中期経営計画『DAN-TOTSU3か年計画STEP』の達成に向け、「バリュー・ネットワーキング」構想の推進と「健全な企業風土」の醸成を基本戦略に定め、これまで進化させてきた物流ネットワークにグループ各社の経営資源を融合させることで、高付加価値モデルの創出および既存事業のさらなる高度化に取り組みました。このように新たな価値創造に邁進する一方で、デリバリー事業における宅急便の適正料

金收受施策を推進したほか、グループ丸となってコスト構造改革にも努めました。

今後もヤマトグループの総合力を結集して、多様なお客様にさらなる利便性を提供するとともに、地域社会への貢献を深めながら企業価値を向上させてまいります。株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2014年12月

代表取締役社長 木川 眞

## 第2四半期のポイント

- 1 グループの経営資源を複合的に活用した新たな価値の創造
- 2 各地の行政との連携による、地域社会への貢献を推進
- 3 宅急便の適正料金收受施策の推進とコスト構造改革

■決算ハイライト	前第2四半期 (単位:億円)	当第2四半期 (単位:億円)	増減 (単位:億円)	伸率
営業収益	6,558	6,732	↑ 174	2.7%増
営業利益	233	212	↓ △20	8.8%減
経常利益	239	223	↓ △15	6.6%減
四半期純利益	123	121	↓ △2	1.8%減